

1 上下水道局令和4年度の予算編成について

(1) 基本的な考え方

料金収入については、水道料金、下水道使用料とも、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などに伴う使用水量の影響により、厳しい状況が続いています。こうした状況は、令和4年度においても引き続きものと見込んでおります。

一方で、市民生活や社会活動を支え続けるライフライン事業の使命を将来にわたって果たすため、施設の老朽化対策や南海トラフ巨大地震を見据えた地震対策、大雨に対する備えとしての浸水対策などに取り組んでいく必要があります。

このように、上下水道事業を取り巻く経営環境は非常に厳しい状況にありますが、持続可能で強靱な上下水道システムの構築に向け、引き続き、効率的かつ効果的な事業執行に努めるとともに、将来を見据えた投資を積極的・計画的に行うことにより、お客さまに信頼される名古屋の上下水道事業を維持していきます。

(2) 主要事業

①水道基幹施設の整備

浄水場や配水場などの水道基幹施設について、老朽化した施設の更新及び耐震化を計画的に進めるとともに、大規模地震発生等に伴う長時間停電に対応できるよう配水場等に非常用発電設備の整備を行うなど、災害に対する安全性の向上を図ります。また、水源水質の急変など水源をめぐるリスクにも対応できるよう施設整備を行い、給水の安定性の確保を図ります。

②配水管の更新及び耐震化

老朽化した配水管について、計画的に更新及び耐震化を進めます。特にルート耐震化として、名古屋市地域防災計画に定められた防災拠点である指定避難所や地域防災活動拠点等へ至る配水管について、優先的に耐震化を進めます。

③下水道基幹施設の整備

水処理センターやポンプ所などの下水道基幹施設について、老朽化した施設の改築及び耐震化を計画的に進めます。また、大規模地震発生等に伴う長時間停電に対応できるよう水処理センターの非常用発電設備の増強を進めるなど、災害に対する安全性の向上を図ります。

④ 下水管の改築及び耐震化

老朽化した下水管の調査と改築を計画的に行います。特に指定避難所等と水処理センターを結ぶ下水管などの重要な下水管については、優先的に耐震化を進めます。

⑤ 浸水対策

名古屋市総合排水計画に基づき、名古屋駅周辺を含む中川運河上流地域において、引き続き雨水調整池等の整備を推進します。また、その他の地域においても改築・更新にあわせた雨水排水ポンプの能力増強等を進めます。

⑥ 水環境の向上

伊勢湾や市内河川の水質を改善するなど水環境の向上のため、下水道未整備地域の解消や高度処理の導入、合流式下水道の改善などの取り組みを進めます。また、都心部のまちづくりに貢献するため、堀川上中流部及び新堀川上流部におけるさらなる水質浄化策として、将来的な分流化を目指す中で、雨水幹線の整備などとともに、モデル地区における分流化の実施に向けて、取り組みを進めます。

(3) 新規・拡充事項

(水道事業)

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	令和3年度 予定額	令和4年度 見積額
1	春日井浄水場凝集沈澱池の更新	原水水質の変化にも柔軟に対応できる横流式沈澱池に更新	79	140
2	春日井浄水場活性炭注入設備の更新	原水への異臭味原因物質の流入に対し、迅速かつ適切に対応できる活性炭注入設備に更新	—	627
3	防災拠点へ至る配水管の耐震化（ルート の耐震化）	名古屋市地域防災計画に定められた防災拠点である指定避難所や地域防災活動拠点等へ至る配水管を優先的に耐震化	670	715

※事項名、見積額等については今後変更になることがあります。

(下水道事業)

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	令和3年度 予定額	令和4年度 見積額
4	空見スラッジリサイクルセンター第2期焼却施設の整備	老朽化の進んでいる山崎汚泥処理場の代替施設として、空見スラッジリサイクルセンターの第2期焼却施設を整備	—	20
5	名古屋駅周辺を含む中川運河上流地域の浸水対策	名古屋中央雨水調整池、新道第2雨水調整池及び広川ポンプ所の整備	6,885	3,468
6	雨水浸透・貯留施設助成	雨水流出抑制及び水循環機能の回復を図るための雨水浸透・貯留施設設置に対する助成	—	5
7	簡易処理高度化施設の整備	雨天時の簡易処理水質を向上させるため、千年水処理センター及び熱田水処理センターに簡易処理高度化施設を整備	307	311
8	堀川上中流部及び新堀川上流部におけるさらなる水質浄化	堀川上中流部及び新堀川上流部におけるさらなる水質浄化のため、拡充した水質調査の継続とともにモデル地区の分流化などの設計	60	10

※事項名、見積額等については今後変更になることがあります。